

# 授業改善シート〔国語〕

校番( 36 ) 福山市立神辺西中学校

## 昨年度課題

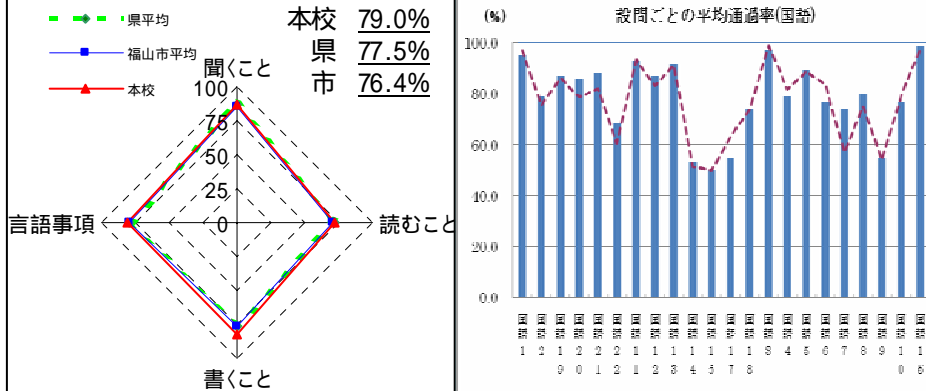
論の展開に即した読みの指導が必要。  
意見文を書くことにおいて、意見を支える根拠を適切に表現できていない。事実と意見の違いを判断する指導が必要。

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

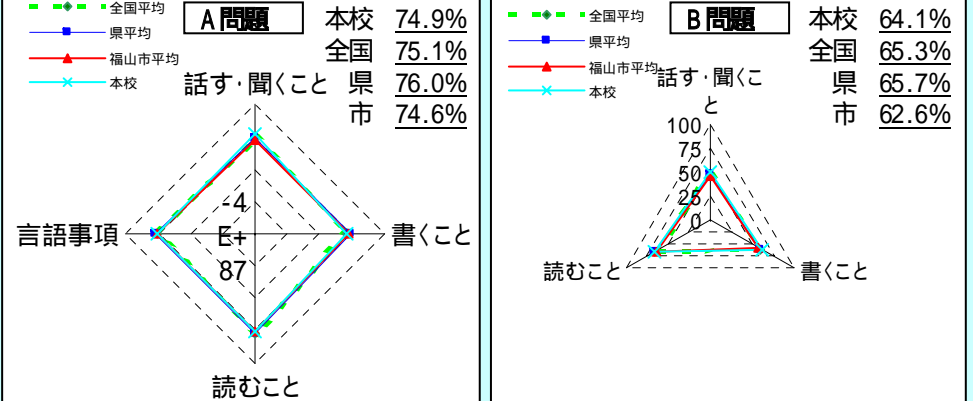
文章のジャンルごとに読み取りのポイントをつかませるため、キーワードを基に読み進めること。  
ナンバリングや文末表現の工夫により目的に応じた文章を書くこと。

《本年度の目標値 読むこと、書くこと 共に通過率70% 》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



## 重点課題 「基礎・基本」定着状況調査 全国学力・学習状況調査

文章の展開に即して段落相互の関係をとらえることに課題がある。(通過率 50%)

文章の展開を確かめながら、要旨をとらえることに課題がある。(通過率 54.7%)

表現の仕方に注意して読み、内容について理解することに課題がある。(通過率 30.5%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

### 【国語科】

段落毎に要点をまとめる事を中心に読み進めていたが、文章全体の中での役割を接続詞や指示語を基に内容を捉える指導を組み入れていく。

説明文や物語文のキーワードを把握させる指導を継続していくとともに、グループで考え、見つけ方や、その種類について交流し、要旨を捉える方法をひろげていく。

### 【全校・他教科等】

授業において教科書や副教材等を読ませる活動を充実させ、要旨をまとめる活動を行う。  
体験活動や行事に関わる作文、スピーチの取り組みを通して表現の仕方などの工夫をする。  
5教科において、定期的に宿題を出し、家庭学習を充実させる。  
集団(グループ)活動、協働学習を取り入れ、学習集団の質を向上させる。

## 取組みの検証

時期 2月中旬 目標値 全国平均+5ポイント  
方法 CRT 検査

## 来年度の目標値

文章の展開を確かめながら、要旨をとらえる設問の通過率を県平均以上にする。

# 授業改善シート〔数学〕

校番(36) 福山市立神辺西中学校

## 昨年度課題

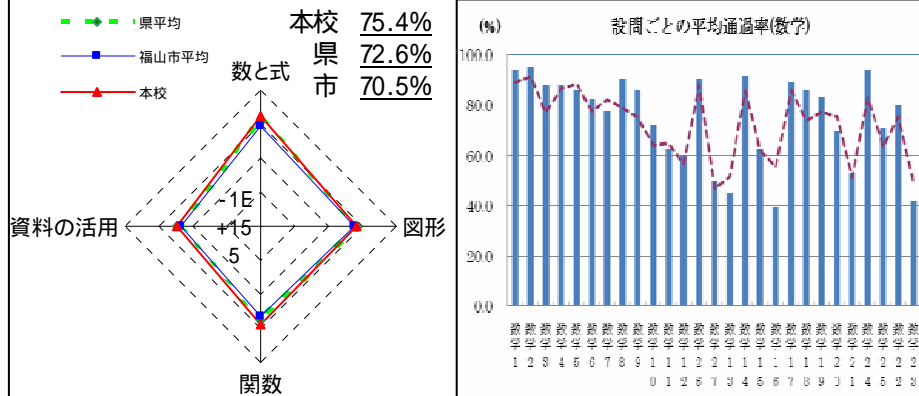
文字を使って表現する力が弱い。  
立体の体積の求め方が定着していない。

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

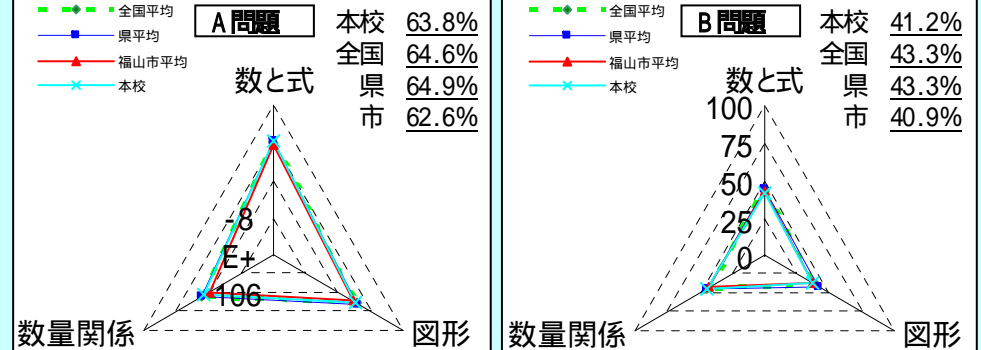
実際の数と文字を対応させ、数の場合の計算方法を理解させた後、文字におきかえさせる。  
面積や体積の求め方を公式としてまとめさせ、反復練習を繰り返し行う。

《本年度の目標値 通過率を県平均より3ポイント以上上回る。》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 全国学力・学習状況調査 本年度正答率



## 重点課題 「基礎・基本」定着状況調査 全国学力・学習状況調査

図形において、辺に垂直な面（通過率 45.3%）・円すいと円柱の体積の関係（通過率 39.5%）に課題がある。

度数分布表から相対度数を求めることに課題がある。  
（通過率 41.9%）

証明問題や具体的な事象における一次関数の式の形成等に課題がある。

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業・家庭学習）

### 【数学科】

立体に関する把握、処理については、推論をたてさせ、その後、実際に道具を用いて自分の目で確認させる。  
証明問題や割合の問題では、前時の復習の小テスト等、反復学習を毎時間行う。  
関数の指導では、身近な例をもとに表・式・グラフを常に関連させて考えさせる。

### 【全校・他教科等】

午後学活等を活用し、反復演習を行なう。  
5教科について、定期的な宿題を出し、家庭学習を充実させる。  
集団（グループ）活動・協働学習を取り入れ、学習集団の質を向上させる。

## 取組みの検証

時期 2月中旬 目標値 全国平均+5ポイント  
方法 CRT 検査

## 来年度の目標値

重点課題に挙げた設問の通過率を県平均以上にする。

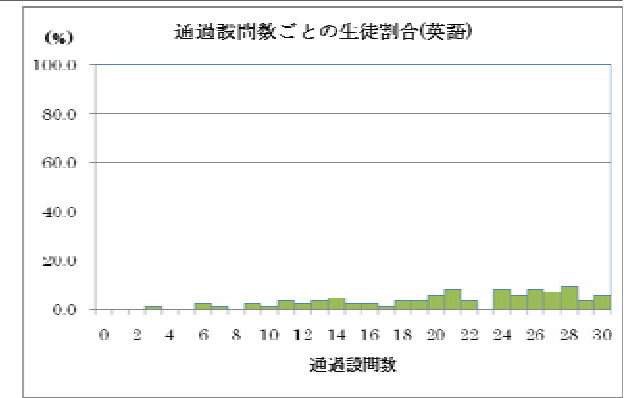
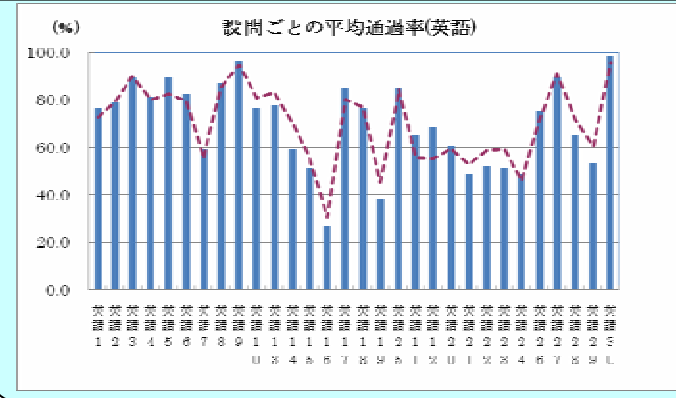
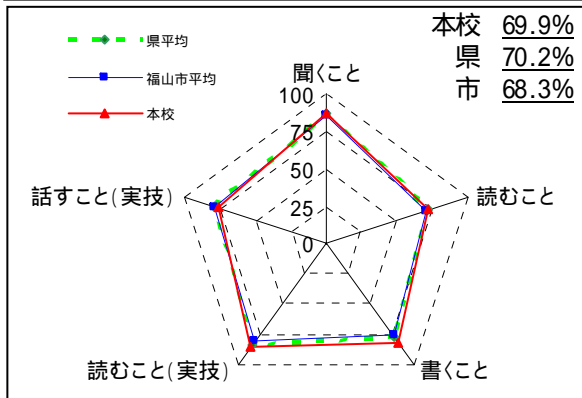
## 昨年度課題

自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように英語で話せない。  
文の前後の内容を考えながら理解し、読むことができない。

## 昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

毎授業中にQ & Aを実施していたが、理解の定着度を把握するために、新たに定期的に発話テストを行う。  
音読が不十分だったため、教科書の本文をしっかり音読させ、基本的な文章を多く覚えさせる。  
《本年度の目標値 県平均と同等の通過率》

## 「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



## 重点課題 「基礎・基本」定着状況調査 全国学力・学習状況調査

助動詞、疑問詞、人称代名詞などを使って、会話文を組み立てることが、県及び市よりも低く、課題がある。

過去形を用いて、自分のことについて内容を考えて書くことに課題がある。(通過率 48.8%)

現在進行形の問いに対して、適切に応答することに課題がある。(通過率 53.5%)

## 重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業・家庭学習)

### 【英語科】

課ごとに話題や文法のポイントを絞り、会話の組み立てを考えられる練習をペアで行う。  
宿題で文法的なドリル練習を行うと共に、レポート作成により、内容を考えて書く力を育成する。

### 【全校・他教科等】

午後学活等を活用し、反復学習を行なう。  
5教科について、定期的な宿題を出し、家庭学習を充実させる。  
集団(グループ)活動・協働学習を取り入れ、学習集団の質を向上させる。

## 取組みの検証

時期	2月中旬	目標値	全国平均+5ポイント
方法	CRT 検査		

## 来年度の目標値

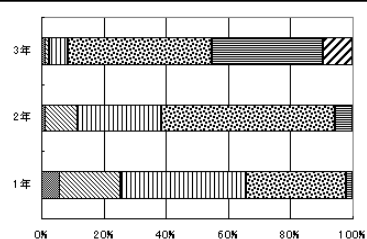
重点課題に挙げた設問の通過率を県平均以上にする。

# 授業改善シート〔質問紙調査〕

校番( 36 )番 福山市立神辺西中学校

## 1 生活・学習

ふだんの家庭学習時間(塾や家庭教師との学習をのぞく)



	1年	2年	3年
6	0%	0%	10%
5	2%	6%	36%
4	32%	56%	46%
3	40%	27%	6%
2	20%	11%	1%
1	6%	1%	1%

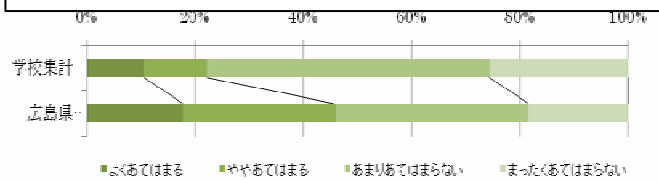
1. してない
2. 30分より少ない
3. 30分以上1時間より少ない
4. 1時間以上2時間より少ない
5. 2時間以上3時間より少ない
6. 3時間以上

改善したい点(「基礎・基本」, 「全国」)	今後の具体的な取組みの内容
<p>自分で計画を立てて家庭学習をすること。また、その内容として、授業の予習や復習を充実させること。</p> <p>昨年度からの取組みの成果として、家庭学習の時間は延びてきているが、さらに時間を延ばすこと。当面、(1+学年×0.5)時間を50%以上にすることを目指したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題を定期的(週1回以上)に出す。午後の学活で宿題の有無を学級全体で確認する。</li> <li>・各教科で家庭学習の具体的なやり方(予習・復習)を指導する。</li> <li>・1週間を単位に教科担任が集計点検し、結果を学級担任に連絡するとともに、個人に対する指導を行う。</li> <li>・学習習慣づくりについて、通信や学級懇談等を通して家庭と連携する。</li> <li>・宿題の出し方を工夫し、一律ではないようなものにしていく。</li> </ul>

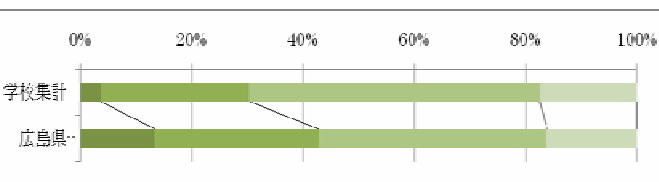
来年度の目標値	・家庭学習の時間(1+学年×0.5)時間以上の生徒の割合を50%以上にする。
---------	--

## 2 教科学習への意識

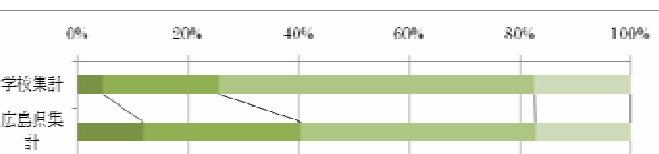
国語の授業では、分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べています。



数学の授業では、理由をあげて自分の考え方や解き方を説明しています。



英語の授業では、話が続くようにつなぎ言葉などを用いて話しています。



	生徒の回答と学校の指導についての課題(「基礎・基本」, 「全国」)	授業改善の方向性や具体的な取組み
国語	<p>分からない言葉や漢字は、辞書を使って調べている生徒が22%で、県平均は45%と比較するとかなり低い。</p> <p>国語の授業で学習したことが将来役に立つかと考える生徒が全国平均39.2%を下回って34.4%しかない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書の活用の重要性を理解させ、授業では辞書を活用して語句の意味や漢字を調べる時間を設定する。</li> <li>・読書の有益制等をあげながら、新しい物の見方や考え方に触れる喜びの重要性を挙げ、本の紹介等を取り入れる。</li> </ul>
数学	<p>数学の授業では、理由をあげて自分の考え方や解き方を説明している生徒が30.2%で、県平均42.7%と比較して大幅に低い。</p> <p>数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える生徒が全国平均37.2%を下回って33.4%しかない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループなど学習形態を工夫し、自分の考えや解き方を説明する場面を多く設定する。</li> <li>・単元ごとに、学習した内容が日常生活で活用できそうな場面を考えさせたり、説明させたりする時間を確保する。</li> </ul>
英語	<p>適切な語を用いた会話文の組み立てをみる4つの問題で、県の通過率との差が平均-6.2%あり課題である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書本文を読む際、会話文の問答やつなぎ言葉に注意させる。</li> <li>・ペアワークによる会話練習を行う。</li> </ul>

来年度の目標値

・各教科の課題の割合がそれぞれ県平均、全国平均と同等程度を目指す。

## 授業改善シート〔実施スケジュール〕

校番(36)番 福山市立神辺西中学校

	～ 8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
	・ Plan			・ Do			・ Check			・ Action		
	結果の分析・H2 1の改善計画の見直し H2 2の改善計画の実施						検証	次年度の計画				
全校・全教科	実態分析による重点課題の把握と改善計画の作成	改善計画を元にした研究授業、授業実践及び授業交流の実施 校内研修による成果と課題の把握	課題を元にした取り組みの微調整	研究授業、授業実践及び授業交流の実施 校内研修による成果と課題の把握	課題を元にした取り組みの微調整 次年度のシラバス検討	各教科の授業改善についての検証(改善計画の評価と課題把握)	公開研究会の実施 校内研修による成果と課題の把握	新年度の授業改善計画の作成 課題を元にした次年度の取り組み案作成と検討	全国学力学習状況調査の実施とそれに伴う校内研修の実施	課題を元にした取り組みの微調整		
国語	研修の参加によって指導法の工夫を図る。	校内研修による表現力の実態や課題の把握	定期テストの評価と課題把握	授業改善に関する実態の把握とその改善策の検討	定期テストの評価と課題把握	修学旅行を終えてレポートの作成	公開研究会を通して指導法の研修 修学旅行を終えてレポートの作成	シラバスの見直し	使用教材の選定	定期テストの評価と課題把握		
数学	研修への参加により、指導法の工夫・改善	実態分析による課題の把握	定期テストの評価と課題把握	改善計画をもとにした指導内容の確認	定期テストの評価と課題把握	休み明けテストの評価と課題把握	公開研究会を通して指導法の研修	シラバスの見直し 重点課題に対する定着度の把握(学年末テスト)	使用教材の選定	定期テストの評価と課題把握 定期テストの評価と課題把握		
英語	研修への参加により、指導法の工夫・改善	レポート作成 英語科校内授業研究	定期テストの評価と課題把握	発話テスト	定期テストの評価と課題把握	レポート作成	公開研究会を通して指導法の研修	シラバスの見直し 重点課題に対する定着度の把握(学年末テスト)	使用教材の選定	定期テストの評価と課題把握		
生活・学習	集計結果の分析	授業改善 学習規律徹底 学級懇談会での保護者啓発 学年通信での協力依頼	授業改善 中間試験の取り組み 三年三者懇	授業改善	授業改善 期末試験の取り組み 三者懇談会	授業改善 学習規律徹底	授業改善 進路説明会	授業改善 学年のまとめと新学年に向けて	学年学級開き 学習規律徹底 生活リズムの確立	授業改善 学習規律徹底		

